

会員 各位

日本鉄道サイバネティクス協議会
技術賞選考委員会
委員長 川崎 邦弘

2024 年度日本鉄道サイバネティクス協議会技術賞候補「再募集」のご案内

時下、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協議会発展のためにご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、日本鉄道サイバネティクス協議会表彰規則に則り、2024 年度協議会技術賞候補の募集を行いました。期間を延長して再募集をさせていただきます。

下記のとおり「対象となる技術」の要件の一部を変更し、募集対象を広げております。この変更内容をご確認・ご理解の上、再度のお願いになりますが、自薦又は他薦により応募いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

(注) サイバネティクス技術とは、通信その他の手段により情報を集めて適切な判断(分析・処理)を下し、これを制御することにより、鉄道システムの方向を見極めたり、効率を高める技術を指す。現在でいう ICT(=情報通信技術)の応用実践と言い換えられる。

記

1. 対象者

当協議会の会員に所属し、表彰の対象となる技術開発等に従事した個人又はグループを対象とする。なお、共同開発者であれば会員以外でも可とする。

2. 対象となる技術(下線部が、変更箇所)

- (1) 原則として、過去約 3 年以内に実用化されたものを対象とする。ただし、初期導入、実証試験等が 3 年以上前に実施された場合であっても、直近 3 年以内に進展(導入実績の拡大、顕著な技術改良等)があったものについては対象とする。

参考：これまでの要件

- (1) 原則として、過去約 3 年以内に実用化されたものを対象とする。ただし、初期導入、実証試験等が 3 年以上前に実施された場合であっても、直近 3 年以内に著しい進展(導入実績の大幅な拡大、顕著な技術改良等)があったものについては対象とする。

- (2) 応募時点で稼働しているものを対象とする。なお、事業運営上現に貢献しているものに限らず、将来事業拡大が計画あるいは検討されている成果も対象とする。

参考：これまでの要件

- (2) 応募時点で稼働し、事業運営上現に貢献しているものとする。

- (3) 現場ニーズに基づき対策をボトムアップ的に取りまとめた成果(泥くさい取組みも含めて)に関する応募も歓迎する。

- (4) 海外において実用化された成果も対象とする。

- (5) 過去に応募した技術の再応募も妨げない。

- (6) 他協会での類似表彰、当協議会の論文賞等での表彰などの表彰実績があっても可とする。

3. 審査に当たっての評価項目

- (1) 新規性 : 技術の内容、応用対象などの新規性、オリジナリティの程度

- (2) 実用性 : 実用化の程度、適用範囲の広さ

- (3) 導入効果：経営上・技術上の効果の程度、具体的には下記の6項目
①旅客サービス向上、②安全性向上、③業務の効率化、④コスト削減、
⑤ESG^{*}への貢献、⑥技術的な波及効果
- (4) その他特筆すべき事項：他協会等での表彰実績、その他

4. 推薦方法

- (1) 自薦又は他薦により別紙の推薦調書に記載し、説明資料を添付の上、事務局宛てに送付する。
- (2) 添付する説明資料はA4で6頁以内とする。発表済みの論文、パンフレットなども可とするが、パンフレットのみは不可とする。

5. 応募期限

2025年1月24日（金）必着とする。

6. 表彰件数

最優秀賞1件、優秀賞3件、特別賞若干名を目安とする。

特別賞は、新規性、実用性、導入効果のいずれか1つに特に秀でているなどの特徴的な成果を表彰する。

※「ESG」とは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取って作られた言葉です。

【問合せ先】

日本鉄道サイバネティクス協議会 技術賞選考委員会事務局
〒136-0071 東京都江東区亀戸1-28-6 タニビル4F
TEL：03-5626-2324 FAX：03-5626-2325